

《履修上の留意事項》面接授業のみ実施

《担当者名》鈴木 和

【概要】

本科目は、精神保健福祉士受験資格にかかわる指定科目である。平行して履修している「障害者福祉論」で学ぶ障害の概念や国際生活機能分類を踏まえて、疾病と傷害を併せ持つ精神障害者の特性とともに、精神障害者の生活実態とニーズを学び、精神障害者の自立と社会参加を促進する地域生活支援システムのあり方と課題を学ぶ。

【学習目標】

1. 精神保健福祉士は、チームの一員として、疾病として治療の対象である精神障害者を障害という切り口でその特性を理解し、説明することができる。
2. 精神保健と福祉・労働の連携、協働の理念となる精神障害者の地域生活支援について価値を認める。
3. 障害福祉サービスの対象でもある精神障害者の地域生活実態とニーズを評価する。
4. 精神障害者の地域生活を支援する実践方法について事例を通して考察する。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	オリエンテーション	授業の目的と内容の説明	鈴木
2	障害の概念	国際生活機能分類(ICF)の障害概念	鈴木
3	精神障害者のとらえ方	精神保健福祉関連法制度の歴史を理解するとともに、精神障害者の規定の変化	鈴木
4	精神障害者の特性	疾病と障害を併存する精神障害者の特性	鈴木
5	精神障害者の生活の実態	統計からみた精神障害者の現状	鈴木
6	精神障害者の生活の実際	精神障害者と家族支援	鈴木
7	精神障害者の生活の実際	精神障害者と偏見	鈴木
8	精神障害者の地域生活支援の理念	地域生活支援における理念	鈴木
9	精神障害者の地域生活支援システム	精神障害者の地域生活支援システムの実際	調整中(特別講師) 鈴木
10	精神障害者の地域生活支援システム	精神障害者の地域生活支援システムの実際	調整中(特別講師) 鈴木
11	精神障害者の相談援助	市町村や都道府県における相談援助システム	鈴木
12	精神障害者の居住支援	居住支援制度の概要	鈴木
13	精神障害者の雇用・就業支援	雇用・就業支援制度の概要	鈴木
14	精神障害者の雇用・就業支援	雇用・就業支援の実際	鈴木
15	精神保健福祉論 のまとめ	本科目の授業内容の要点整理とまとめ	鈴木

【評価方法】

課題レポート30%、定期試験70%

【備考】

教科書：日本精神保健福祉士養成校協会編集 『新精神保健福祉士養成校講座 精神障害者の生活支援システム 第3版』中央法規(2018)

参考書：その都度、プリントを配布する。

その他：この科目は、精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「精神障害者の生活支援システム」に該当する。

【学習の準備】

毎回の授業内容を確認し，教科書，必要な資料等を事前に読んで予習しておくこと。（80分）
毎回の授業終了時に提示した課題について調べ，まとめることにより学習を深めること。（80分）
課題レポートは授業の進行具合に応じて，回数を設定する。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,4

【実務経験】

精神保健福祉士・社会福祉士

【実務経験を活かした教育内容】

精神科医療機関での精神保健福祉士としての実務経験を活かし，実践的教育を行う。